

(2) 重要な地形及び地質の状況

調査区域に分布する重要な地形及び地質の概要は、表 4-1-49 及び図 4-1-24 に示すとおりです。事業実施区域には、トンネル予定区間に岩屋観音・火打坂が存在します。

なお、「日本の地形レッドデータブック第1集－危機にある地形－」(平成12年12月、小泉武栄、青木賢人)に掲載された危機にある地形、「日本の地形レッドデータブック第2集－保存すべき地形－」(平成14年3月、小泉武栄、青木賢人)及び「わが国の失われつつある土壌の保全をめざして－レッド・データ土壌の保全－」(平成12年3月、日本ペトロロジー学会)に掲載された、学術上又は希少性の観点から重要とされる地形及び地質は存在しません。

表 4-1-49 重要な地形及び地質の概要

No.	名称	概要	重要度の分類基準	出典
1	高師小僧	褐鉄鉱質団塊よりなり、棒状、いも状、樹枝状その他種々なる形状をなす。大部分は地層中に直立して産出する。高師原は豊富に産し、初めて標式地として高師小僧の名称が与えられた所である。	①a	1
2	岩屋観音・火打坂	岩屋山はチャートの岩塊からなる山で、表面の岩石は風化で茶褐色に変色しているが、割った新鮮な面は青みがかった泥岩基質のチャートからなる。珪質で緻密なチャートは、古くは火打石として利用されており、火打坂の名の由来となっている。	②b	2
3	灰岩地形及び砂丘・斜交層理	「第1回自然環境保全基礎調査すぐれた自然調査」に掲載されている。	②a	3

注1) 地点番号は図4-1-24に対応する。

重要度の分類基準：

- ①法律、条例等によって定められた重要な地形及び地質
- ②法令等の規定はないが学術上又は希少性の観点で重要と判断される場合のある地形及び地質
 - a: 公的機関によって定められた重要な地形及び地質
 - b: 学会等で定められた重要な地形及び地質

出典：1. 「文化財ナビあいち」(愛知県ホームページ)

2. 「豊橋市自然環境保全基礎調査 報告書」(平成27年3月、豊橋市)

3. 「第1回自然環境保全基礎調査すぐれた自然調査」(昭和51年、環境庁)

(3) 活断層の状況

「活断層データベース」(国立研究開発法人産業技術総合研究所ホームページ)によると、調査区域には活断層は存在していません。

